

●はじめに

津山市防災ハザードマップは、住民のみなさまが災害時に避難したり、命を守る行動をとるために役立つ情報をまとめたものです。

地震や風水害、土砂災害などの自然災害はいつ発生してもおかしくありません。

想定される災害を知り、いざというときにあわてず行動できるように、このハザードマップを使って避難所や避難方法などを確認し、家族や地域で災害に備えましょう。



防災ハザードマップの活用方法

ステップ1



ハザードマップを見てみよう

- ハザードマップを確認して、危険の少ない安全な経路を考え、実際に避難先まで歩いてみましょう。
- 隣近所や地域のグループで意見を出し合い、避難先や避難経路をチェックしましょう。
- 夜間や豪雨の中、避難することは大変危険です。早めの避難行動を心がけましょう。

ハザードマップ	洪水(想定最大規模降雨)・土砂災害	索引図	P16	ハザードマップ	洪水(想定最大規模降雨)・土砂災害	拡大図	P39～P48
ハザードマップ	洪水(想定最大規模降雨)・土砂災害	広域図	P17～P38	ハザードマップ	洪水(計画規模降雨)		P49～P50
ハザードマップ	地震		P53～P54				

ステップ2



避難先を確認しよう

- 浸水害や土砂災害、地震災害に備え、自宅、学校、勤務先などの最寄りの避難先を確認しておきましょう。
- 避難経路上の水路やマンホール、ブロック塀、落下物など、避難経路にある危険箇所をチェックしておきましょう。
- 万が一の逃げ遅れなどに備え、身近なところに少しでも安全な場所がないか、確認しておきましょう。

ハザードマップ	洪水(想定最大規模降雨)・土砂災害	広域図	P17～P38	指定福祉避難所一覧	P12
ハザードマップ	洪水(想定最大規模降雨)・土砂災害	拡大図	P39～P48		

ステップ3



危険な場所を知ろう

- 自宅、学校、勤務先などの危険性を把握し、通勤通学路などにも危険な箇所がないか確認しましょう。
- 過去の被災場所・被害の状況を確認しましょう。また、地域に伝わる伝承などを調べてみましょう。
- 他の地域の災害事例なども参考にしながら、災害時にはどんな状況になるか想像してみましょう。

ハザードマップ	洪水(想定最大規模降雨)・土砂災害	索引図	P16	ハザードマップ	洪水(想定最大規模降雨)・土砂災害	拡大図	P39～P48
ハザードマップ	洪水(想定最大規模降雨)・土砂災害	広域図	P17～P38	ハザードマップ	洪水(計画規模降雨)		P49～P50
ハザードマップ	地震		P53～P54				

ステップ4



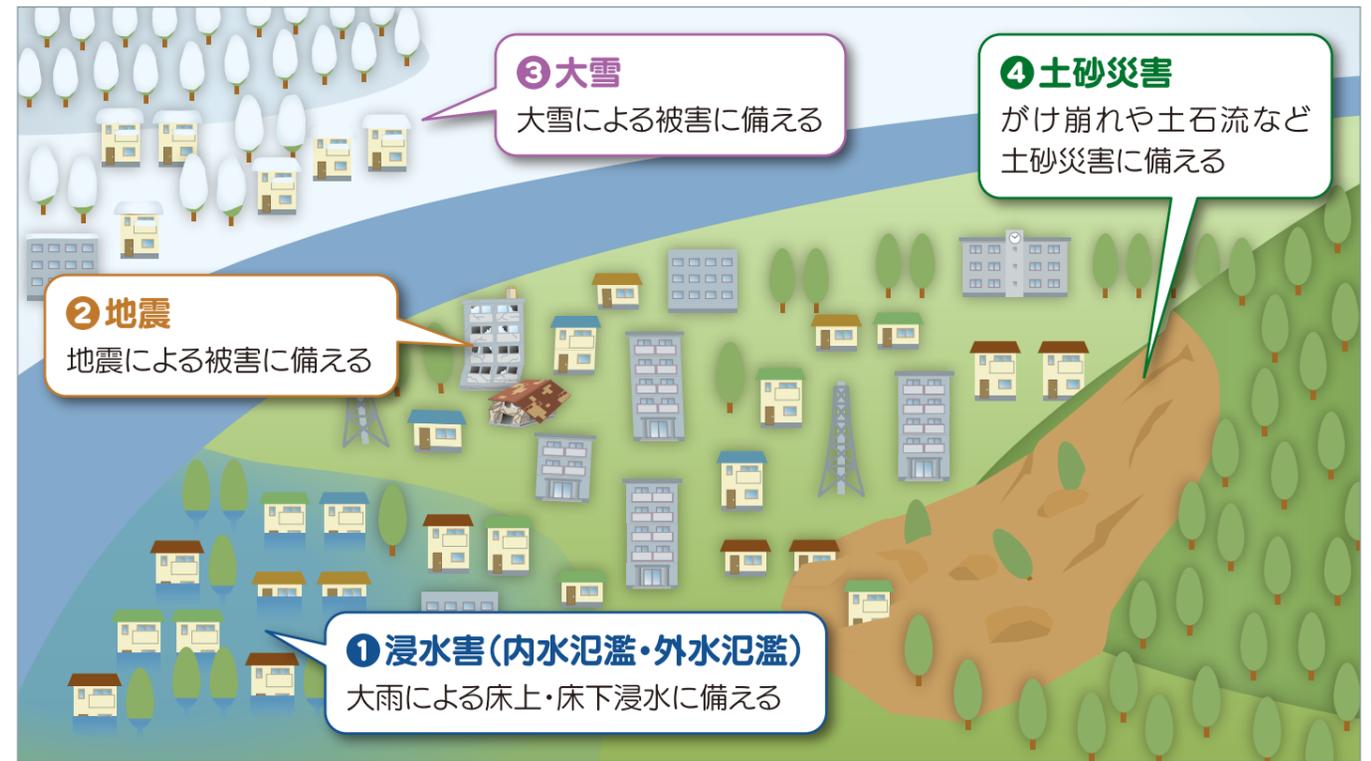
避難方法を知ろう

- ハザードマップをよく確認して、災害対応に関する知識を深めるとともに、安全かつ確実に避難する方法を身につけましょう。
- 避難するタイミングなどを、事前に「マイ・タイムライン」(P13～P14)に書き込みましょう。
- 家族や身近な人との連絡方法なども話し合っておきましょう。
- 避難するために、周りの人の手助けが必要な方(災害時要配慮者)が近所にいるかもしれません。避難の際にはみんなで声をかけ合うなど、地域の助け合いを忘れないようにしましょう。

風水害・土砂災害に備える	P5～P12	災害時要配慮者	P3
地震災害に備える	P51～P52	マイ・タイムライン	P13～P14

●津山市で想定される自然災害

津山市は、比較的自然災害の少ない地域だと思いませんか？しかし、気候変動などの環境異変から災害が発生するリスクは高まっていると言えます。日頃から身近で起こりうる災害を想像し、備えておきましょう。



※イラストはイメージです。

●津山市で発生した主な自然災害

発生年月	災害の種類等	被害状況等
昭和9年9月	室戸台風	死者3名、家屋損壊37戸、床上浸水616戸、橋梁・堤防などの流出、決壊など市内各地で甚大な被害をもたらした。
昭和38年7月	梅雨前線(38年豪雨)	累計雨量166mm 負傷者1名、住家損壊4戸、床上浸水184戸、床下浸水1,246戸、道路、橋梁、河川堤防、農地などに甚大な被害をもたらした。(災害救助法適用)
昭和47年7月	梅雨前線	累計雨量478mm 死者2名、負傷者2名、家屋損壊25戸、床上浸水184戸、床下浸水1,178戸、道路、橋梁、河川、農地等など甚大な被害をもたらした。(災害救助法適用)
昭和52年9月	局地的豪雨	最大時間雨量93mm 床上浸水471戸、床下浸水3,605戸、道路、橋梁、河川、農地などに甚大な被害をもたらした。(災害救助法適用)
平成10年10月	台風10号	最大時間雨量40.5mm 負傷者5名、住家損壊52戸、床上浸水1,740戸、床下浸水1,414戸、道路、河川、農地などに甚大な被害をもたらした。(災害救助法適用)
平成16年10月	台風23号(広戸風)	負傷者4名 住家損壊545戸、床下浸水1戸、停電約10,000戸、道路、農地、農作物などに甚大な被害をもたらした。特に、暴風により、県北部の山地において、多量の風倒木が発生し、林業への影響が甚大となる。
平成28年10月	鳥取中部地震	マグニチュード6.6 市内震度4 市内各所にて屋根の損壊、外壁損傷など多数の被害が発生。
平成30年7月	梅雨前線(西日本豪雨)	累計雨量440mm 住家損壊27戸、床上浸水71戸、床下浸水195戸 道路、河川、農地などに甚大な被害をもたらした。(岡山県に初めて「大雨特別警報」が発表:災害救助法適用)
令和5年1月	記録的大雪	気象台の観測地点(津山)で、最大積雪深46cm 車両の立ち往生や帰宅困難、物流の停滞など市民生活に多大な影響あり。(最大積雪深は、観測史上最大値を更新、顕著な大雪に関する情報発表(6時間で31cm))
令和5年8月	台風7号	累計雨量424mm 床下浸水1戸 市内北部を中心に道路、河川、農地等に甚大な被害をもたらした。(岡山県に初めて「線状降水帯」が発生:鏡野町と津山市加茂・阿波地域の一部)